

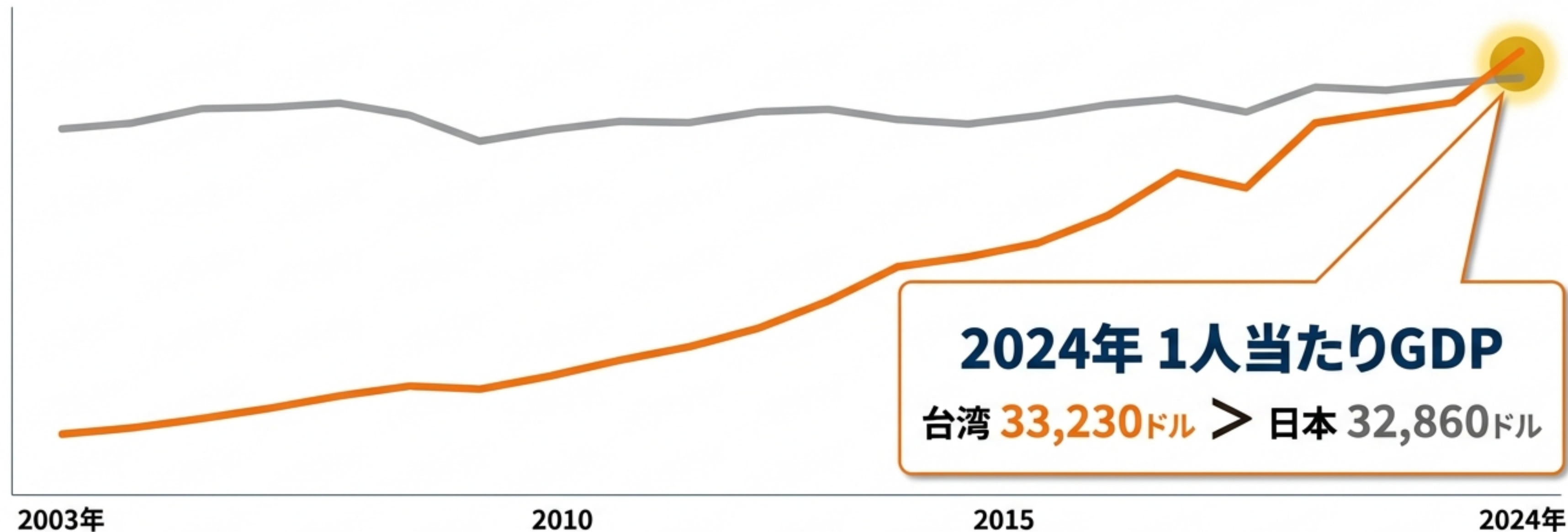
【2026年最新】

台湾の給与は もう安くない。

データで読み解く「新・アジアの豊かさ」と
半導体マネーの実態

Based on official data from 台湾行政院主計総処, 104人力銀行, IMF (1 TWD = 4.8 JPY)

崩壊する「安い台湾」の神話。1人当たりGDPで日本を逆転。



100万円以上の急成長

2003年: 約209万円

2023年: 約333万円

輸出産業の好調と近年の為替変動（円安）が相まり、名目上の経済指標において台湾はかつての「アジアの安価な労働力」から脱却した。

マクロの実態：平均月給は過去最高を記録。

最新給与水準

60,984元
(約28.4万円)

年収換算で約340万円。常勤給与は過去25年間で最高の伸び率（前年比+2.99%）。

為替のトリック

2021年 (1元=3.7円) = 約257万円

2026年 (1元=4.8円) = 約333万円

円安が「高く見せている」側面も否めない。

平均値と中央値のギャップ



平均値は半導体産業が極端に押し上げており、格差は拡大傾向にある。

日台年収・生活水準マトリックス（2026年版）

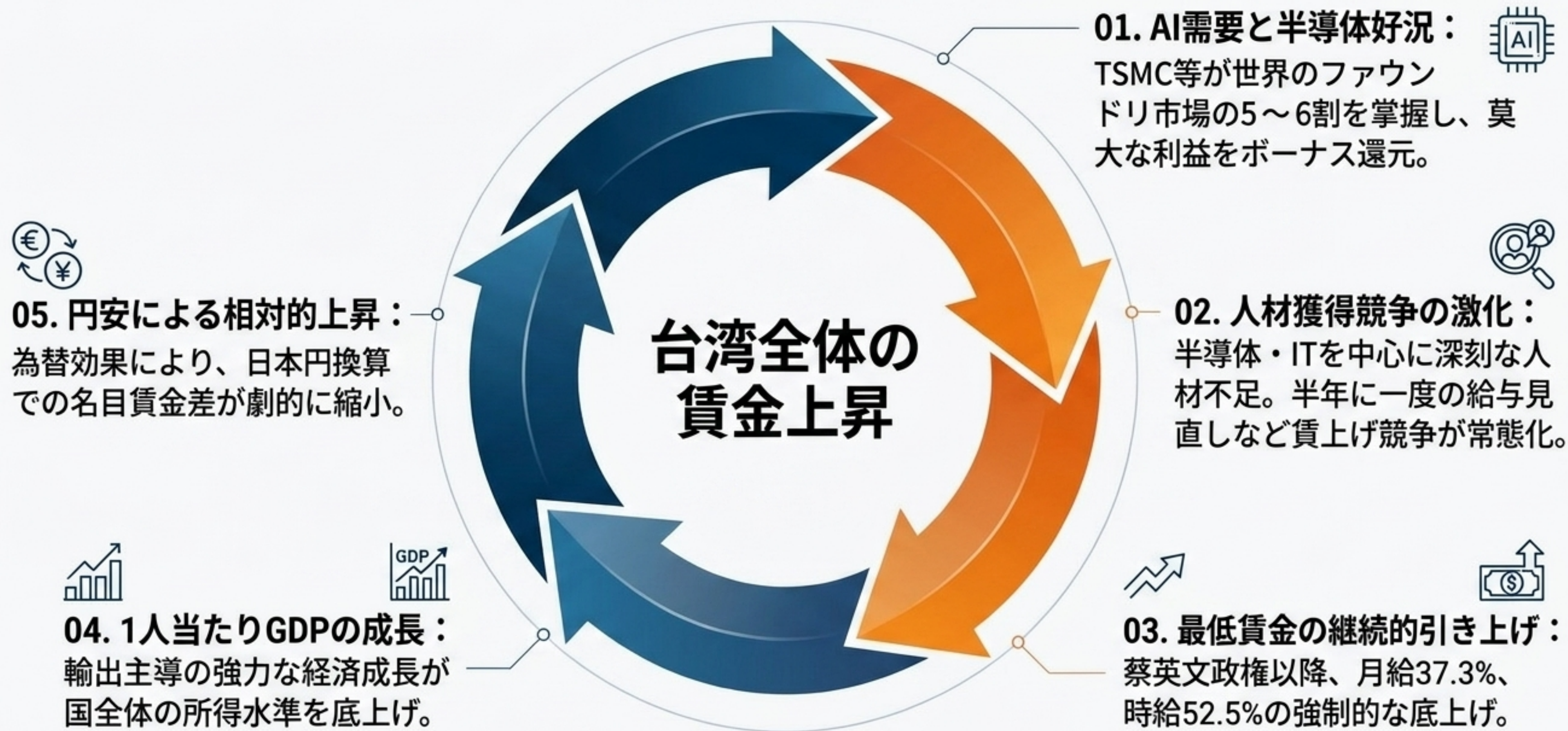
指標	台湾	日本	台湾水準（対日本）
平均年収	約340万円	478万円	約71%
平均月収	約28.4万円	約39.8万円	約71%
大卒初任給	約16.8万円	約22.6万円	約74%
最低賃金	約13.7万円	約18万円（東京）	約76%

額面（名目）だけで比較すると、台湾の賃金水準は一律して「日本の約7割」。
しかし、真の豊かさは「額面」だけでは測れない。

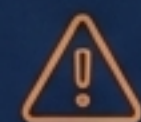
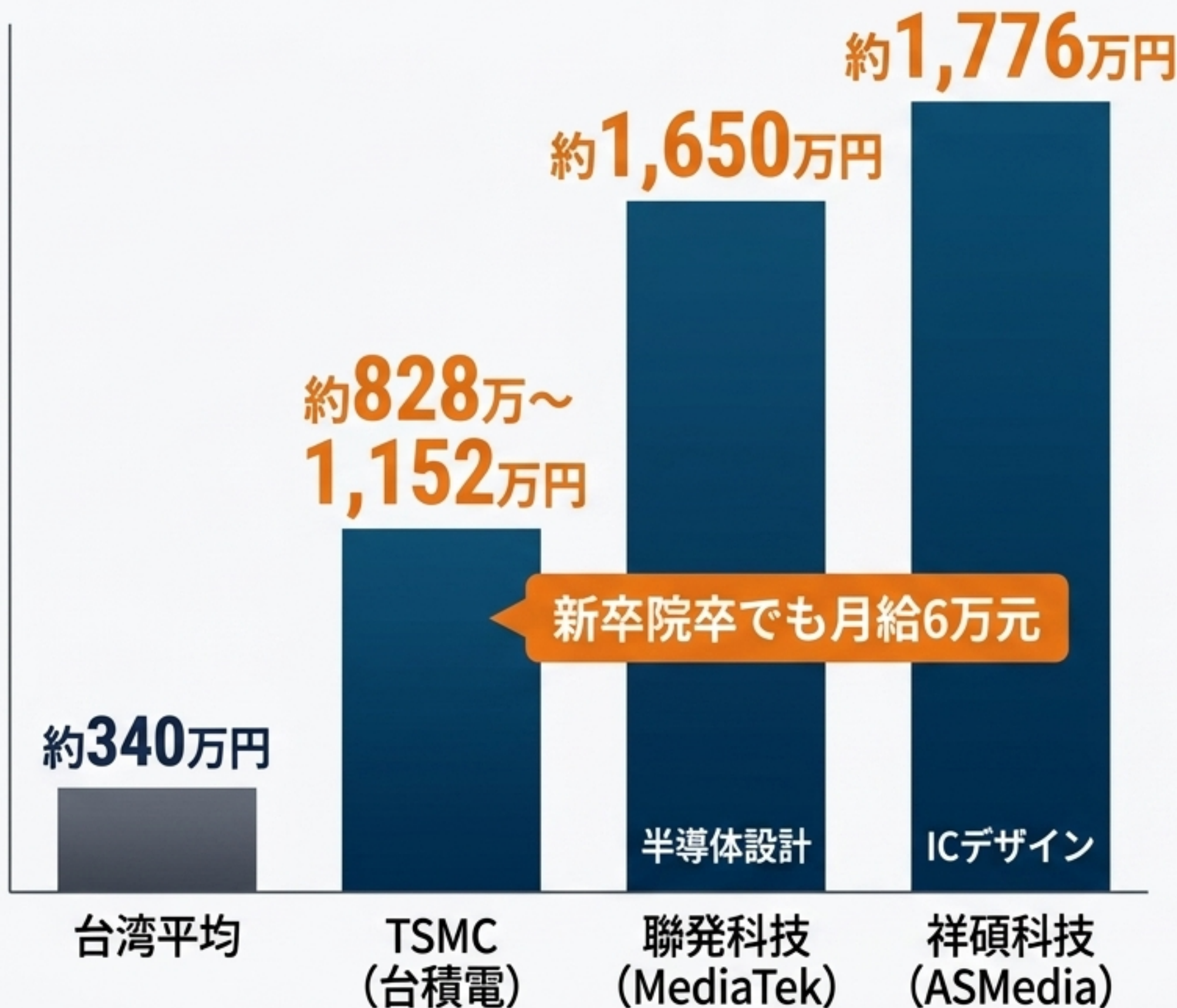
The Real Wealth: なぜ「年収500万円」が台湾では富裕層の入口なのか。



賃金上昇を牽引する5つのエンジン



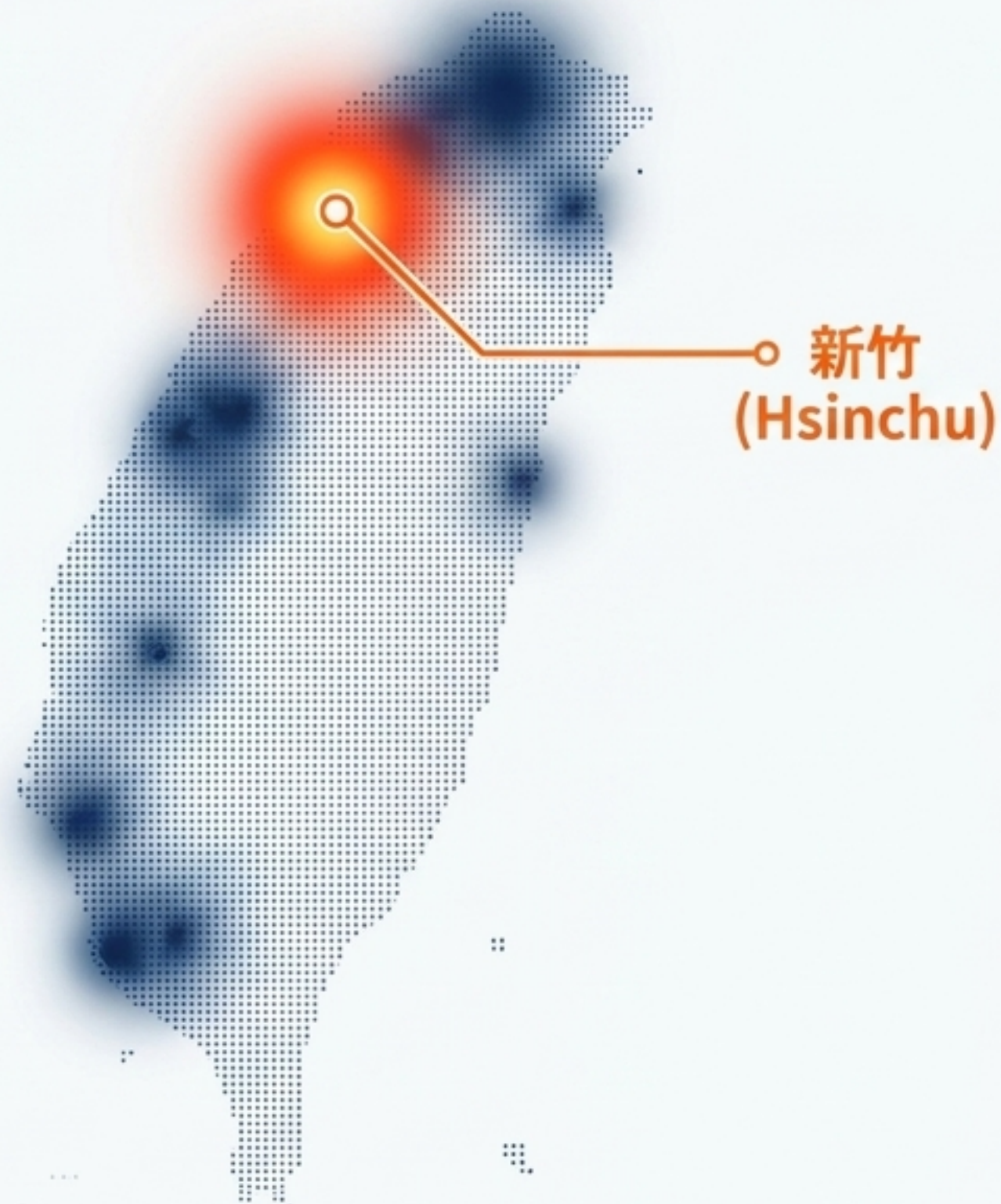
半導体現象：TSMCと桁違いのテックマネー



激務と高給のトレードオフ

圧倒的な高給の裏には激務がある。TSMCは年6回のボーナス（員工分紅）があり、数年で年収480万0万円を突破するが、現地では「肝臓を売りに行くようなもの」と揶揄される。

台湾のシリコンバレー「新竹」への富のシフト



平均世帯年収 トップエリア

- 👑 1位: 新竹市東区関新里 - 約1,900万円超
- 👑 2位: 新竹市北区大同里 - 約1,866万円
- 👑 3位: 新竹県竹北市中興里 - 約1,668万円
- 4位: 台北市士林区永福里 - 約1,644万円

台湾世帯年収項目

台湾の平均所得上位エリアは台北から新竹へ移行。
全国トップ5地区のうち4つを新竹エリアが独占している。
最下位の地域と比較すると、格差は最大5倍に達する。

業種・職種別インサイト：専門性と階層が規定する格差



同じ製造業でも役職により2～3倍の給与格差が存在し、日本以上に階層が明確。

Demographics & Equality : 上昇する初任給と進む男女平等

初任給の急上昇 (2024年)

前年比+6.4%の大幅上昇。
半導体・ITなら新卒で月約24万円超えも。



男女間の賃金格差 (女性の給与/男性の給与)



台湾



日本



韓国

日本や韓国と比較して圧倒的に男女間の賃金格差が小さく、女性の社会進出が進んでいる証左。

Japanese Careers in Taiwan：日本人の3つのキャリアパス



🌐 日系企業駐在員

年収: 800万～2,000万円

- 日本基準の基本給＋海外・住宅手当。治安が良く親日的なため、人気の駐在先。

💻 台湾系企業への転職（直接雇用）

年収: 400万～1,000万円

- TSMC等で日本語＋専門スキルを活かす。高度人材なら800万円超のポジションも。

🤝 日系企業の現地採用

年収: 400万～700万円

- 台湾のローカル水準に準拠。



Visa Note: 高度人材に人気の「**就業ゴールドカード**」
(就労・居留・再入国が一体化した優遇制度)を活用可能。

結論：新しい選択肢としての「台湾」

1. 崩壊した「安い台湾」

1人当たりGDPでの逆転、TSMCを筆頭とする空前の賃金上昇フライホイールが、過去の固定観念を完全に過去のものにした。

2. 実質的な生活の豊かさ

名目給与は日本の7割でも、物価安（7割）と低い税・社会保険料負担により、可処分所得の観点では日本と同等以上の豊かさを享受できる。

3. 熱気あふれるキャリアの舞台

ジェンダー格差が少なく成長産業の恩恵が波及する台湾は、「安いコストの場所」から「成長と高所得を取りに行く舞台」へ進化した。

台湾でのキャリア実現に向けて、まずは最新の現地事情に精通したエージェントへの相談を。
(Career World)